

全国の皆様へ

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災に際しましては、厳しい経済状況の中、被災地の復興のために多大なるご支援を賜り誠に有難うございます。これまでの 5 年間、復興に向けて産学官金、地域一丸となって、数多くの困難に立ち向かって参りました。現在は皆様のお力添えのもと、徐々に震災前と同じ日常を取り戻し始めた地域も増えております。しかしながら、依然として復興の途上である地域があるのも事実であり、まだまだ多くの課題は残されております。私共と致しましては、震災を通し重要性を再認識した「絆の力」をより強固なものにしながら一つひとつに向き合い、未来へ向け更なる発展を遂げて参りたいと考えております。

自動車産業は、その裾野の広さから全国レベルでも経済の中心と位置付けられておりますが、東北地域、宮城県でもトヨタ自動車東日本の発足に象徴されますように、復興・再生に向けて大きな期待がかかっています。その一つが、文部科学省のご支援のもと平成 24 年 7 月より開始されました地域イノベーション戦略支援プログラム（東日本大震災復興支援型）「次世代自動車宮城県エリア」次世代自動車のための産学官連携イノベーション：大学発の新製品・新システム開発です。東北大学のもつ多彩な研究・技術ポテンシャルを産官学金の連携のもと、地域企業の復興、再生につなげようとするものです。

研究中心大学として、東北大学では全国あるいは世界レベルの自動車関連企業、産学官の連携は多く進められてきましたが、地域企業との連携は十分ではありませんでした。しかし、大震災からの復興・再生のためには、どうしても地域企業の発展が不可欠です。プロジェクト発足以来、地域企業への研究内容説明会、講演会、人材育成・機器共用のための多数の講義・実習、およそ 50 の研究室へのラボツアー、大学研究者の地域企業見学会、またすべての産官学金が参加するポスター形式による研究発表会など、多様な試行を進めて参りました。これまで距離のあった地域企業と大学の間の連携も急速に高まりつつあります。当初は本誌掲載の地元企業は 10 社ほどでしたが、現在は約 50 社となりました。今後は、その連携を質量ともに更に強化しながら、次世代自動車分野での地域の復興・再生に貢献出来ればと期待しています。

この度は、プロジェクトに参画する東北大学、宮城県の主要な研究室・研究グループ、地域企業の研究・技術紹介に加え、震災以後 5 年間の各人・各社の復興へ向けた歩みと未来への展望を纏めました。その中には、地震・津波による被害を受け、想像を絶する窮地に立たされた中から必死の思いで復旧にあたり、発展を続けている方々も含まれています。それらの経験・困難に打ち勝ち生まれた新たな技術や製品を発信し、逆境の中から輝かしい芽を出し花開いた人類の底知れぬ力を、今後国際的にも発展させて参りたい。そのような想いで今年度の国際シンポジウムを開催いたしますので、ご支援のほどお願い申し上げます。

なお、本プロジェクトの紹介は、www.miyagicar.com に紹介されておりますので、併せてご参照頂ければ幸いです。

中塚勝人（プロジェクト・ディレクター）

宮本 明（研究推進委員長）